

学習指導要領(小学校)新旧対照表 現行の学習指導要領の項目のレベルで関連を見ようとしています。

現行 学習指導要領(小学校)(項目、事項)

	低学年	中学年	高学年
表現 (1)	(1)音楽を聴いて演奏できるようにする。 ア 範唱や範奏を聴いて演奏すること イ 階名で模唱や暗唱をしたり、リズム譜に親しんだりする	(1)音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏できるようにする。 ア 範唱や範奏を聴いて演奏すること イ ハ長調の旋律を視唱したり視奏したりすること	(1)音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏できるようにする。 ア 範唱や範奏を聴いて演奏すること イ ハ長調及びイ短調の旋律を視唱したり視奏したりすること
	(2)楽曲の気分や音楽を特徴付けている要素を感じ取って、工夫して表現できるようにする。 ア 歌詞の表す情景や気持ちを想像して表現すること イ 拍の流れやフレーズを感じ取って演奏したり身体表現したりすること ウ 互いの歌声や楽器の音、伴奏の響きを聴いて演奏すること	(2)曲想や音楽を特徴付けている要素を感じ取って、工夫して表現できるようにする。 ア 歌詞内容にふさわしい表現の仕方を工夫すること イ 拍の流れやフレーズ、強弱や速度の変化を感じ取って演奏したり身体表現したりすること	(2)曲想や音楽を特徴付けている要素を感じ取って、工夫して表現できるようにする。 ア 歌詞内容や楽曲の構成を理解して、それらを生かした表現の仕方を工夫すること イ 拍の流れやフレーズ、音の重なりや和声の響きを感じ取って演奏したり身体表現したりすること
表現 (2)	(1)歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。 イ 歌詞の表す情景や気持ちを想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりし、思いをもって歌うこと。 エ 互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと。	(1)歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。 イ 歌詞の内容、曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。 エ 互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと。	(1)歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。 イ 歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。 エ 各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと。
	(2)器楽の活動を通して、次の事項を指導する。 イ 楽曲の気分を感じ取り、思いをもって演奏すること。 エ 互いの楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏すること。	(2)器楽の活動を通して、次の事項を指導する。 イ 曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって演奏すること。 エ 互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏すること。	(2)器楽の活動を通して、次の事項を指導する。 イ 曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって演奏すること。 エ 各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏すること。
表現 (3)	(3)音楽づくりの活動を通して、次の事項を指導する。 イ 音を音楽にしていくことを楽しみながら、音楽の仕組みを生かし、思いをもって簡単な音楽をつくること。	(3)音楽づくりの活動を通して、次の事項を指導する。 イ 音を音楽に構成する過程を大切にしながら、音楽の仕組みを生かし、思いや意図をもって音楽をつくること。	(3)音楽づくりの活動を通して、次の事項を指導する。 イ 音を音楽に構成する過程を大切にしながら、音楽の仕組みを生かし、見通しをもって音楽をつくること。
	(1)「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。 ア 音楽を形づくっている要素のうち次の(ア)及び(イ)を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取ること。 (ア) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素 (イ) 反復、問いと答えなどの音楽の仕組み イ 身近な音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。	(1)「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。 ア 音楽を形づくっている要素のうち次の(ア)及び(イ)を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取ること。 (ア) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なり、音階や調、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素 (イ) 反復、問いと答え、変化などの音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。	(1)「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。 ア 音楽を形づくっている要素のうち次の(ア)及び(イ)を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取ること。 (ア) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なりや和声の響き、音階や調、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素 (イ) 反復、問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係などの音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。

新 学習指導要領(小学校)(項目、事項)

	低学年	中学年	高学年
表現 (1)	(1)歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。 ア 範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりすること。	(1)歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。 ア 範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌うこと。	(1)歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。 ア 範唱を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして歌うこと。
	(2)器楽の活動を通して、次の事項を指導する。 ア 範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏すること。	(2)器楽の活動を通して、次の事項を指導する。 ア 範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして演奏すること。	(2)器楽の活動を通して、次の事項を指導する。 ア 範奏を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして演奏すること。
表現 (1)	(1)歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。 イ 歌詞の表す情景や気持ちを想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりし、思いをもって歌うこと。 エ 互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと。	(1)歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。 イ 歌詞の内容、曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。 エ 互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと。	(1)歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。 イ 歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。 エ 各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと。
	(2)器楽の活動を通して、次の事項を指導する。 イ 楽曲の気分を感じ取り、思いをもって演奏すること。 エ 互いの楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏すること。	(2)器楽の活動を通して、次の事項を指導する。 イ 曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって演奏すること。 エ 互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏すること。	(2)器楽の活動を通して、次の事項を指導する。 イ 曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって演奏すること。 エ 各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏すること。
表現 (3)	(3)音楽づくりの活動を通して、次の事項を指導する。 イ 音を音楽にしていくことを楽しみながら、音楽の仕組みを生かし、思いをもって簡単な音楽をつくること。	(3)音楽づくりの活動を通して、次の事項を指導する。 イ 音を音楽に構成する過程を大切にしながら、音楽の仕組みを生かし、思いや意図をもって音楽をつくること。	(3)音楽づくりの活動を通して、次の事項を指導する。 イ 音を音楽に構成する過程を大切にしながら、音楽の仕組みを生かし、見通しをもって音楽をつくること。
	(1)「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。 ア 音楽を形づくっている要素のうち次の(ア)及び(イ)を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取ること。 (ア) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素 (イ) 反復、問いと答えなどの音楽の仕組み イ 身近な音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。	(1)「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。 ア 音楽を形づくっている要素のうち次の(ア)及び(イ)を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取ること。 (ア) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なり、音階や調、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素 (イ) 反復、問いと答え、変化などの音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。	(1)「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。 ア 音楽を形づくっている要素のうち次の(ア)及び(イ)を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取ること。 (ア) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なりや和声の響き、音階や調、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素 (イ) 反復、問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係などの音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。

現行 学習指導要領(小学校)(項目、事項)

	低学年	中学年	高学年
表現 (3)	(3)歌い方や楽器の演奏の仕方を身に付けるようにする	(3)歌い方や楽器の演奏の仕方を身に付けるようにする	(3)歌い方や楽器の演奏の仕方を身に付けるようにする
	ア 自分の歌声及び発音に気を付けて歌うこと イ 身近な楽器に親しみ、簡単なリズムや旋律を演奏すること	ア 呼吸及び発音の仕方に気を付けて自然で無理のない声で歌うこと イ 音色に気を付けて旋律楽器及び打楽器を演奏すること	ア 呼吸及び発音の仕方を工夫して、豊かな響きのある自然で無理のない声で歌うこと イ 音色の特徴を生かして、旋律楽器及び打楽器を演奏すること
表現 (4)	(4)音楽をつくって表現できるようにする。	(4)音楽をつくって表現できるようにする。	(4)音楽をつくって表現できるようにする。
	ア リズム遊びやふし遊びなどを楽しみ、簡単なリズムをつくって表現すること イ 即興的に音を探して表現し、音遊びを楽しむこと	ア 音の組合せを工夫し、簡単なリズムや旋律をつくって表現すること イ 即興的に音を選んで表現し、いろいろな音の響きやその組み合わせを楽しむこと	ア 曲の構成を工夫し、簡単なリズムや旋律をつくって表現すること イ 自由な発想を生かして表現し、いろいろな音楽表現を楽しむこと
鑑賞 (1)	(1)音楽を聴いてそのよさや楽しさを感じ取るようにする。	(1)音楽を聴いてそのよさや美しさを感じ取るようにする。	(1)音楽を聴いてそのよさや美しさを味わうようにする。
	ア 楽曲の気分を感じ取って聴くこと イ リズム、旋律及び速さに気をつけて聴くこと ウ 楽器の音色に気をつけて聴くこと	ア 曲想の変化を感じ取って聴くこと イ 主な旋律の反復や変化、副次的な旋律、音楽を特徴付けている要素に気をつけて聴くこと ウ 楽器の音色及び人の声の特徴に気をつけて聴くことそれらの音や声の組み合わせを感じ取って聴くこと	ア 曲想を全体的に味わって聴くこと イ 主な旋律の変化や対照、楽曲全体の構成、音楽を特徴付けている要素と曲想とのかわりに気をつけて聴くこと ウ 楽器の音色及び人の声の特徴に気をつけて聴くことそれらの音や声の重なりによる響きを味わって聴くこと

新 学習指導要領(小学校)(項目、事項)

	低学年	中学年	高学年
表現 (1)	(1)歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。 ウ 自分の歌声及び発音に気を付けて歌うこと。	ウ 呼吸及び発音の仕方に気を付けて自然で無理のない歌い方で歌うこと。	ウ 呼吸及び発音の仕方を工夫して、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌うこと。
	表現 (2)	(2)器楽の活動を通して、次の事項を指導する。 ウ 身近な楽器に親しみ、音色に気を付けて簡単なリズムや旋律を演奏すること。	ウ 音色に気を付けて旋律楽器及び打楽器を演奏すること。
表現 (3)	(3)音楽づくりの活動を通して、次の事項を指導する。 ア 声や身の回りの音の面白さに気付いて音遊びをすること。 イ 音を音楽にしていこうと楽しみながら、音楽の仕組みを生かし、思いをもって簡単な音楽をつくること。	ア いろいろな音の響きやその組合せを楽しみ、様々な発想をもって即興的に表現すること。 イ 音を音楽に構成する過程を大切にしながら、音楽の仕組みを生かし、思いや意図をもって音楽をつくること。	ア いろいろな音楽表現を生かし、様々な発想をもって即興的に表現すること。 イ 音を音楽に構成する過程を大切にしながら、音楽の仕組みを生かし、見直しをもって音楽をつくること。
	鑑賞 (1)	(1)鑑賞の活動を通して、次の事項を指導する。 ア 楽曲の気分を感じ取って聴くこと。 イ 音楽を形づくっている要素のかかり合いを感じ取って聴くこと。 ウ 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲や演奏の楽しさに気付くこと。	ア 曲想とその変化を感じ取って聴くこと。 イ 音楽を形づくっている要素のかかり合いを感じ取り、楽曲の構造に気を付けて聴くこと。 ウ 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付くこと。
共通事項 (1)	(1)「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。 ア 音楽を形づくっている要素のうち次の(ア)及び(イ)を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取ること。 (ア) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素 (イ) 反復、問いと答えなどの音楽の仕組み イ 身近な音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。	ア 音楽を形づくっている要素のうち次の(ア)及び(イ)を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取ること。 (ア) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なり、音階や調、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素 (イ) 反復、問いと答え、変化などの音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。	ア 音楽を形づくっている要素のうち次の(ア)及び(イ)を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取ること。 (ア) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なりや和声の響き、音階や調、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素 (イ) 反復、問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係などの音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。

学習指導要領(中学校)新旧対照表

現行の学習指導要領の事項の内容を大きく括って関連を見ようとしています。

現行 学習指導要領(中学校)(項目、事項)

	第1学年	第2学年・第3学年
表現 アイ	ア 歌詞の内容や曲想を感じ取って、歌唱表現を工夫すること。 イ 曲種に応じた発声により、言葉の表現に気をつけて歌うこと	ア 歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい歌唱表現を工夫すること。 イ 曲種に応じた発声により、美しい言葉の表現を工夫して歌うこと
ウ	ウ 楽器の基礎的な奏法を身に付け、美しい音色を工夫して表現すること。	ウ 楽器の特性を生かし、曲にふさわしい音色や奏法を工夫して表現すること。
工	エ 声部の役割を感じ取り、全体の響きに気をつけて合唱や合奏をすること。	エ 声部の役割を生かし、全体の響きに調和させて合唱や合奏をすること
オカ	オ 短い歌詞に節付けをしたり、楽器のための簡単な旋律を作ったりして声や楽器で表現すること。 カ 表現したいイメージや曲想を持ち、様々な音素材を用いて自由な発想による即興的な表現や創作をすること。	オ 歌詞にふさわしい旋律や楽器の特徴を生かした旋律を作り、声や楽器で表現すること。 カ 表現したいイメージや曲想を持ち、様々な音素材を生かして自由な発想による即興的な表現や創作をすること
キク	キ 音色、リズム、旋律、和声を含む音と音とのかかり合い、形式などの働きを感じ取って表現を工夫すること。 ク 速度や強弱の働きによる曲想の変化を感じ取って表現を工夫すること。	キ 音色、リズム、旋律、和声を含む音と音とのかかり合い、形式などの働きを理解して表現を工夫すること。 ク 速度や強弱の働きによる曲想の変化を理解して表現を工夫すること。
鑑賞 アイウエ	ア 声や楽器の音色、リズム、旋律、和声を含む音と音とのかかり合い形式などの働きとそれらによって生み出される楽曲の雰囲気や曲想を感じ取って聴くこと イ 速度や強弱の働きそれらによって生み出される楽曲の雰囲気や曲想の変化を感じ取って聴くこと ウ 我が国の音楽及び世界の諸民族の音楽における楽器の音色や奏法と歌唱表現の特徴から音楽の多様性を感じ取って聴くこと エ 音楽をその背景となる文化・歴史などとかかわらせて聴くこと	ア 声や楽器の音色、リズム、旋律、和声を含む音と音とのかかり合い、形式などの働きとそれらによって生み出される曲想とのかかり合いを理解し、楽曲全体を味わって聴くこと イ 速度や強弱の働きそれらによって生み出される曲想の変化を理解して聴くこと ウ 我が国の音楽及び世界の諸民族の音楽における楽器の音色や奏法と歌唱表現の特徴から音楽の多様性を理解して聴くこと エ 音楽をその背景となる文化・歴史や他の芸術とのかかり合いから総合的に理解して聴くこと

新 学習指導要領(中学校)(項目、事項)

	第1学年	第2学年・第3学年
表現 (1)	(1)歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。 ア 歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと。 イ 曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うこと。	ア 歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと。 イ 曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かして歌うこと。
表現 (2)	(2)器楽の活動を通して、次の事項を指導する ア 曲想を感じ取り、表現を工夫して演奏すること。 イ 楽器の特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付けて演奏すること。	ア 曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して演奏すること。 イ 楽器の特徴を理解し、基礎的な奏法を生かして演奏すること。
表現 (1)(2)	(1)歌唱の活動を通して、次の事項を指導する。 ウ 声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。 (2)器楽の活動を通して、次の事項を指導する。 ウ 声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて演奏すること。	ウ 声部の役割と全体の響きとのかかり合いを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。 ウ 声部の役割と全体の響きとのかかり合いを理解して、表現を工夫しながら合わせて演奏すること。
表現 (3)	(3)創作の活動を通して、次の事項を指導する。 ア 言葉や音階などの特徴を感じ取り、表現を工夫して簡単な旋律をつくること。 イ 表現したいイメージをもち、音素材の特徴を感じ取り、反復、変化、対照などの構成を工夫しながら音楽をつくること。	ア 言葉や音階などの特徴を生かし、表現を工夫して旋律をつくること。 イ 表現したいイメージをもち、音素材の特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりを工夫しながら音楽をつくること。
共通事項 (1)	(1)「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。 ア 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受すること。 イ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解すること。	ア 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受すること。 イ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解すること。
鑑賞 (1)	(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を指導する。 ア 音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかり合いを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。 イ 音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて、鑑賞すること。 ウ 我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴から音楽の多様性を感じ取り、鑑賞すること。	ア 音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかり合いを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。 イ 音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して、鑑賞すること。 ウ 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して、鑑賞すること。
共通事項 (1)	(1)「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を指導する。 ア 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受すること。 イ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解すること。	ア 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受すること。 イ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解すること。

*この「新旧対照表」は、音鑑ホームページ (<http://pioneer.jp/onkan/>) からダウンロードできます。